

『いが☆グリオの防災手帳』

『いが☆グリオの防災手帳』は、伊賀市が発行している防災手帳で、地震や台風などの災害時に必要な情報をまとめたものです。手帳には、避難所の場所や連絡先、非常食の備蓄方法、応急手当の方法などが記載されています。手帳は、いざという時にすぐに必要な情報を確認できるように、家族全員が持つことが推奨されています。

伊賀市教育委員会では、小1の時に、1年生全員に配布をし、必要事項を記入後、ランドセルに入れておくことを推奨していますが、今回の能登半島での地震を受け、再度、子どもたちの命を守るために、現在の携帯状況を把握し、携帯していない場合には、再度配布し、全員がランドセルに入れておくように勧めることになりました。

そこで、本日、全員の子どもに、『いが☆グリオの防災手帳』を配布しました。お子さんと確認をしながら、必要事項を記入し、ランドセルに入れておいてください。よろしく願います。外国にルーツを持つ子どもたちが、日本語漢字能力検定試験を受検しました。(1/20)

伊賀市では、日本語指導が必要な外国児童生徒の日本語能力の向上を支援する取組の一つとして、日本漢字能力検定の受検を進めています。

今年、2年生から6年生までの10人の外国にルーツを持つ子どもたちが、10級から6級までのそれぞれが合格を目指す級の検定に挑みました。子どもたちは、本番に向けて、11月頃から勉強をしてきたので、本番も自信をもって問題に挑んでいる姿が見られました。検定終了後は、「絶対合格や。」といった頼もしい言葉も聞かれました。今回の結果は、3月上旬に判明する予定なので、楽しみに待っておいってください。

今年からは、日本語指導教室の「にじいろ教室」も開設し、外国にルーツを持つ子どもたちの日本語能力の向上を図る取組を進めています。外国にルーツのある子どもが、「ことば」を理由に、夢をあきらめることのないよう、これからも学習支援はしていきたいと考えています。

3学期も本と出会う機会を増やしていきます。

学校評価アンケートの結果を踏まえ、3学期も、子どもたちが本と出会う機会を増やしていきたいと考えています。学校では、これまで同様に、上野図書館の本を教室に置く、毎週金曜日には教員による読み聞かせを行う、読み聞かせボランティアの方に来校いただくことに加え、3学期には、新しくできた「いがまち図書館」の訪問を計画している学年もあります。

manifestoには「10分間はメディアを消す」をあげています。是非とも、各ご家庭で実践していただくとともに、本と出会う機会を少しでも増やしていただきますようよろしくお願いいたします。

